

かごしまクリーンアップキャンペーン 2009 報告書

クリーンアップかごしま事務局

後 援／ 鹿児島県・鹿児島大学水産学部・第十管区海上保安本部

目 次

卷頭言	1
I. クリーンアップキャンペーンとは	2
II. クリーンアップキャンペーン参加方法	3
III. クリーンアップキャンペーン 2009 結果	5
IV. 事務局だより	10
V. 協力・謝辞	13
■ 卷末資料：会場別結果・データカード	14

卷頭言

これまで海岸の清潔の保持は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下、廃掃法という）第五条に従い、土地の占有者、管理者の義務とされてきました。しかし海岸に漂着する海洋ごみは、排出者が不明であるため、排出者責任を原則とした廃掃法では、発生抑制の推進や回収処理の責任についての対応でさまざまな問題が出てきました。

一般社団法人 JEAN（旧 JEAN／クリーンアップ全国事務局）では、1990年より全国一斉に行ってきました国際海岸クリーンアップ（ICC ; International coastal cleanup）を基に、海ごみ問題に悩む市町村・関係者と問題解決に向けた議論の場として2003年から毎年「海ごみサミット」を開催し、海ごみ問題を社会問題化してきました。一方で、法的課題の解決のため、海ごみサミットや ICC で得られた知見をもとに関係省庁の担当課や国会議員へ資料提供を通じて課題提起を続けてきました。その結果、2006年、政府自民党内に勉強会を経て特別委員会が設置されました。ここでは被害甚大地域からの報告、JEANからの提案、省庁の取り組みの報告等が行われ、2009年2月、法律制定に向けた動きが始まりました。同年7月15日、海洋ごみの問題提起から20年を経て、超党派による議員立法として「海岸漂着物処理推進法」が交付されました。

この間、クリーンアップかごしま事務局も、JEANのメンバーとして立法化にあたっての議論に関わってきました。2010年には、本法で規定された漂着物対策の地域計画が鹿児島県でも策定されることとなります。これまで11年間、みなさんがひとつずつ拾い集めた成果が、これから地域計画に生かされる時が来ました。この法律を使って鹿児島から美しい海を取り戻しましょう。

クリーンアップかごしま事務局 代表

一般社団法人 JEAN 理事

藤枝 繁

I. クリーンアップキャンペーンとは

クリーンアップキャンペーンは「美しい、健やかな海」を未来の子どもたちに残していくために、世界中の仲間とともにを行う活動です。

1. 国際海岸クリーンアップ (ICC)

「国際海岸クリーンアップ (ICC = International Coastal Cleanup)」は、米国に本部を置く環境NGO「The Ocean Conservancy」が主催する清掃活動で、1986年に始まりました。これは、海岸、河川及び水中から散乱ごみを取り除きながらその組成や数量等を世界統一のデータカードを使用して分析し、現状を客観的に把握することによって、海洋環境の保全及び改善に向けた社会的提言を行っていこうという国際的な活動です。毎年、9月第3日曜日を中心に行われ、2007年には、76カ国から約38万の人々が参加しています。

日本におけるビーチクリーンアップキャンペーンの歴史は、1990年9月、国際海岸クリーンアップに80名のキャプテンが参加したことになります。現在、日本国内では一般社団法人 JEAN（旧 JEAN／クリーンアップ全国事務局）によって、毎年春に「全国クリーンアップキャンペーン」が、秋に「国際海岸クリーンアップ」が企画され、市民への海洋環境保全に対する意識の普及や行動への参加を促してきました。秋の国際海岸クリーンアップは、2008年までの19年間に、のべ3,977会場、276,116人のボランティアが参加し、市民による国内最大規模の海洋環境保全活動に発展しています。また、一般社団法人 JEAN では、本活動を通じて市民、企業、行政、専門家、海外諸団体等とのネットワークの充実を図り、得られたデータは、毎年春にまとめられ、海洋環境保全活動の普及のための貴重な資料として利用されています。その成果は、現在では多くの企業・行政・地域において改善に向けた活動として実践されています。

2. かごしまクリーンアップ

キャンペーン

「かごしまクリーンアップキャンペーン」とは、「国際海岸クリーンアップ (ICC)」のローカル版です。1998年秋の国際海岸クリーンアップに参加した鹿児島の4人のキャプテンが、もっとこのキャンペーンの輪を県内で広げようと、1999年2月、情報の中継基地として「クリーンアップかごしま事務局」を設立しました。本キャンペーンには、事務局を設立して11年間にのべ59,550人（うち調査参加者20,034人）が参加し、774,234個のごみを数えて回収しました。

現在、事務局は、シーカヤッカー、ダイバー、サーファー、ヨットマンなどの海洋スポーツ愛好者や漁業関係者など、日頃から海に関わるメンバーが中心となって運営されています。事務局では、県内会場のコーディネートをはじめ、クリーンアップキャンペーンの普及活動、地域でのクリーンアップ活動の支援、海ごみ問題に関する環境教育活動、改善に関する調査研究・提言活動などをを行っています。また協賛事業として夏と秋には、錦江湾みらい総合戦略推進協議会による「錦江湾クリーンアップ作戦」が鹿児島湾沿岸で実施されています。

一方、県外で発生した海洋ごみが本県にも大量に漂着し、その量は市民ボランティアだけでは解決できないレベルにまで達しています。事務局では問題解決に向けて、活動と協力・理解の輪を全国に広げるため、県内で行われる様々な活動にも積極的に参加しています。

II. クリーンアップキャンペーン参加方法

キャンペーンとなると大きなイベントを想像されるかもしれません。参加者を募って大がかりに実施されている会場もありますが、1人でも実施できる活動です。以下にキャンペーン参加方法をご紹介いたしますので、お好きな方法をお選び下さい。

■初めてで（不慣れで）よくわからない… →オープン会場に行ってみよう！

誰でも気軽に参加できます。事前登録は不要、受付は直接会場で行います。軍手を用意し、サンダルではなく靴を履き、戸外に長時間いますので長袖長ズボン、水筒持参で参加しましょう。鹿児島県内にはオープン会場が数カ所ありますので、詳細はクリーンアップかごしま事務局（以下、事務局）にお問い合わせ下さい。

■自分で（仲間を募って）やってみたい！ →あなたがキャプテンです！

キャプテンとは、仲間を募って会場を運営し、データを集計して事務局に送るボランティア・リーダーです。1人でもできますが、ごみの多さと寂しさで空しくなってしまいます。人数が多くれば会話も増え、辛さが減りますので、できれば仲間を誘って活動されることをお薦めします。また、広く参加者を募集するオープン会場を運営されるキャプテンは、事務局からもインターネット等で参加者を募集しますので、事務局にもご連絡下さい。

□キャプテンはどうすればいいの？

1. 調査場所を決める

好きな場所を選びましょう。主として海岸と水中ですが、河川敷や町中、公園、学校内でもOKです。ダイバー仲間で海底のごみを回収するもよし、魚釣り帰りのクリーンアップもよし。いろんなところでやってみましょう。会場を決める際には必ず下見をし、危険でなく、継続して行える場所を選びましょう。またトイレや水飲み場、風雨を避けられる場所の有無、現地までの交通手段や駐車場の有無、ごみの回収・搬出のしやすさ、近隣に迷惑をかけない場所か、なども確認しておきましょう。また、ごみが多すぎると調査に疲れたり無力感が襲ってきたりしますので、調査回収

範囲は、参加者数やごみの量を見て決めましょう。

なおオーシャン・コンサーバンシーによる ICC（国際海岸クリーンアップ）は、海岸、海中、海につながる湖沼や川などの水辺で行われたものが対象です。市街地や山など水辺以外のデータは、ICC結果としては集計されません。ただし、JEAN およびクリーンアップかごしま事務局では、内陸データとして集計しておりますので、ぜひお送りください。

2. 日程を決める

日本では毎年2回、春のキャンペーンはアースデイ（4月22日）から世界環境デイ（6月5日）を含む環境週間に、秋のキャンペーンは「国際海岸クリーンアップ（ICC）」の名称で9・10月に世界一斉キャンペーンとして実施しています。なお、かごしまクリーンアップキャンペーンは通年で行っていますので、時期に関係なくご参加下さい。

3. 活動時間はどれくらい？

やり始めると結構熱中して時間がたつのを忘れてしまいます。でも野外での活動ですので、小学生なら30分～1時間、大人なら1～1時間30分程度が目安でしょう。2時間も続ければ、大人でもギブアップです。意気込まなくても残念ながらごみはたくさんあります。海を身近に感じることがすべての始まりですので、クリーンアップ後は潮風を受けながらお弁当を食べたり、貝殻を拾ったり、スポーツを楽しんだりして海を楽しみましょう。

4. 参加登録

キャプテンとして春・秋のキャンペーン実施を希望される方は（春・秋いずれかでも）登録/参加申込をお願いします。キャプテンとしてクリーンアップ参加登録される場合は、登録/参加申込書と年間通信費として1,000円（郵便

振替、または80円程度の小額切手)をJEANにお送りください。キャプテンとして登録された場合は、JEANから年4回の通信と年次レポート、またクリーンアップかごしま事務局から鹿児島県版の年次レポートが届けられます。登録には、巻末の登録/参加申込書、実施結果アンケート(春)、海域地図をご利用ください。

5. 準備

★必ず必要なもの

- (1) ごみ袋
- (2) 作業用手袋(軍手)
- (3) データカード：巻末のカードをコピーしましょう。
(※2009年度の一部改訂されました)
- (4) 下敷き：カードを挟めるバインダー式の下敷き、またはA4サイズに切ったダンボール(コピーしたデータカードを両面に貼るとピラピラしませんよ)。
- (5) 筆記用具
- (6) カメラ
- (7) 救急箱

★あれば便利なもの

ボランティア保険・当番医の確認、はかり、受付用机、名簿、文具類(ガムテープ・はさみ・サインペン・白紙など)、拡声器、スタッフの目印(帽子、Tシャツ、名札など)

★連絡

集めたごみの処分方法を必ず考えておきましょう。ここが一番たいへんなところです。数人の会場では、自宅に持ち帰って処分するのが簡単です。帰宅後の分別も忘れずに。たくさん回収する場合やオープン会場として実施する場合は、あらかじめ会場を下見し、事前に市町村役場と処分方法を打合せしておきましょう。そのときには活動の趣旨と合わせて「全国一斉実施」、「国際的キャンペーン」、「データをとって元から改善」の三点を強調するのが効果的です。なお、市町村役場の他、キャンペーンに協力いただいた方々にはお礼と報告を忘れずに！

6. さあ、活動開始！

まず三人1組を作りましょう。そのうち1人が記録係です。次にキャプテンは、カードへの記入方法(特にわかりにくいごみを中心に全項目の確認)と回収ごみの分別方法について全員に説明しましょう。なお「たくさん」や「約100個」では集計できません。一つ一つきっちり数えましょう。カード内のアイテム内容がわからない場合は、『クリーンアップマニュアル』を参照下さい。一度集めたごみを後で分類し記録する方法もありますが、炎天下ではかなりたいへんです。分類時間や軒下等の分類場所が確保できない場合は、ごみを拾いながら記録し、後で処分方法に従った分別を行う方法がよいでしょう。

★安全上の注意

- ・針の付いた注射器は、直接袋に入れてはいけません。針が刺さるのでとても危険です。ペットボトル等の堅い入れ物に入れて回収しましょう。また注射器に限らず、鋭利なものの扱いは十分に注意し、軍手などをして回収しましょう。
- ・発煙筒や信号弾等を発見した場合は、触れずに警察に通報しましょう。爆発事故も起きています。
- ・大きい物や重たい物は無理して運ばず、残念ですがそのままにしておきましょう。
- ・中身がわらない容器の蓋は開けてはいけません。
- ・回収したごみは、海岸等で燃やしてはいけません。
- ・安全のため、足場の悪い場所や波打ち際には近づかないようにしましょう。
- ・怪我や体調不良の場合には、がまんせず、直ちに本部・キャプテンに連絡しましょう。

活動による事故に対して、事務局、キャプテンは一切の責任を負いません。ボランティア活動ですので、参加者は各自、自己責任で活動して下さい。なおキャプテンはできる限り安全な範囲で活動できるように計画しましょう。オーブン会場では、万が一のためにボランティア保険に加入しています。一般会場のキャプテンで保険に加入したい場合は、かごしま事務局までご相談下さい。

7. 終わった！

回収後、すぐに集計し、何が多かったか、どんなものがあったかなどをその現場で参加者全員にフィードバックしましょう。またなぜ海岸にこんなにごみがあるのか、このごみはどのような影響を与えるのか、どうすれば解決できるか等、参加者一同で考えてみましょう。

集計後は、JEANへ結果(データカード、感想、写真等)を提出して下さい。もし雨で中止になってしまってもその旨連絡下さい。なおICCに使用するデータは、9~10月に行われた会場でJEANに10月末日までに到着したものです。秋のICC(水際、水中)期間以外のデータや内陸部のデータも、県内・国内集計には利用されますので、こちらもJEANまでお送り下さい。会場情報は、かごしま事務局のweb site(<http://www.seafrogs.ingo/>)でも公開しています。

III. かごしまクリーンアップキャンペーン

2009 結果

1. 会場および参加者数

今年で11年目となりました「かごしまクリーンアップキャンペーン2009」には、過去最高の11,006名のボランティアが49会場に参加しました。このうち37会場では、回収と同時にICC(国際海岸クリーンアップ)データカードを使った調査が実施され、2,012人によって59,475個の漂着散乱ごみとデータが収集されました(表1、図1)。また一人当たりの平均回収個数は、29.6個/人(昨年34.5個/人)となりました。

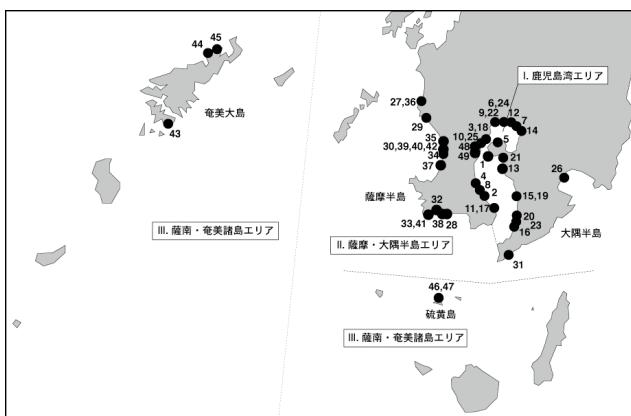


図1. 2009年度の会場(番号は表1の会場番号を示す)

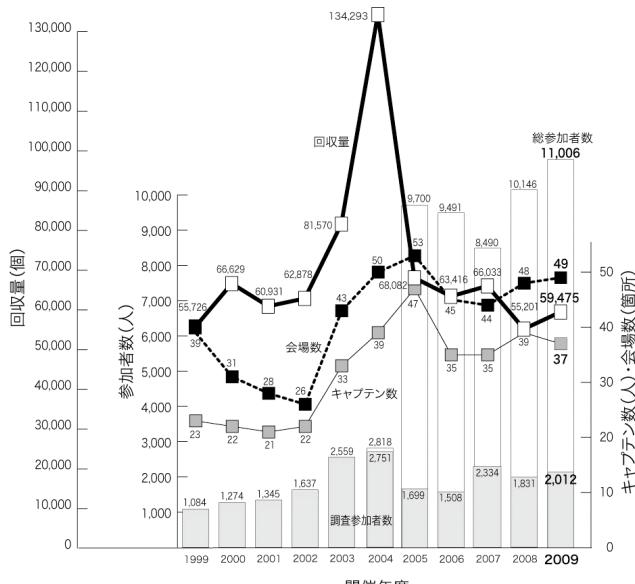


図2. かごしまクリーンアップキャンペーン11年間の活動の推移

過去11年間の活動の推移を図2に示します。これまでの

11年間のキャンペーンを振り返ると、59,550名(うち調査参加者20,034名)のボランティアが、鹿児島県の海岸に漂着散乱する774,234個のごみを回収したことになります。エリア別実施会場数は、鹿児島湾エリアで最も多く25会場であり、全体の51.0%を占めました。またデータカードを使って調査を実施した会場は、鹿児島湾エリア、薩摩大隅半島エリアがそれぞれ15会場、奄美・薩南諸島エリア5会場、河川エリア、内陸エリアそれぞれ1会場となりました。

2. 流出起源別割合

海岸に漂着散乱しているごみを破片・かけら類、陸上起源類(喫煙、飲料・食品、農業、医療・衛生、生活・レクリエーション、衣料品、家電・粗大ごみ、物流、建築、特殊なごみ)、海洋起源類(海運・水産業、釣り)の三大分類および小分類し、エリア別に比較したものを表2に示します。

まず鹿児島県海岸等に漂着散乱するごみ(総合)の53.3%(昨年52.7%)が破片・かけら類となりました。これは、1アイテムあたりの個数で陸上起源類と比較すると、8.6倍にもなります。これらの多くは、直接海岸に捨てられたものや、陸上に捨てられたものが海洋に流出して海岸に漂着したもののが、紫外線による劣化や波浪による衝撃などによって破片化したものと考えられます。近年、海岸に放置されたごみの破片化の進行は深刻です。特にプラスチックは、微小な破片となっても自然界では決して分解されません。これらが海岸に堆積し、また海上に再流出して世界の海に漂流拡散していくことを防ぐためには、製品ごみから微細ごみにいたるまですべてのごみを海洋全域からすみやかに回収することが急務と言えるでしょう。

また全体の39.7%(昨年40.3%)を占めた陸上起源ごみは、喫煙、飲料・食品、生活・レクリエーションなど、我々の日常生活に起因するものが9割以上を占めました。

表1 かごしまクリーンアップキャンペーン2009 会場一覧

No.	海域	キヤブテン名	グループ名	会場		実施日	参加者 (人)	回収量		距離 (m)	
				市町村名	海岸等名称			(個)	(袋)		
1		安藤康志	(株) ランドアート	鹿児島市	桜島ケイレ湾	2009.5.17	7	686	2	6	100
2		喜入海上保安署	鹿児島市立生見小学校、喜入海上保安署	鹿児島市	生見海水浴場	2009.5.29	49	730	25	120	300
3		中國豊明	鹿児島海上保安部、鹿児島市環境政策課、吉野町磯町内会、鹿児島市職員、鹿児島県職員、清水小学校4・5年生、清水中学校2年生	鹿児島市	磯海水浴場	2009.6.5	422	2,087	209	730	400
4		喜入海上保安署	前之浜小学校、喜入海上保安署	鹿児島市	前之浜海岸	2009.6.9	53	1,608	27	150	300
5		錦江湾みらい*	鹿児島市桜島支所総務市民課、桜峰小学校、鹿児島市職員、鹿児島県職員	鹿児島市	桜島西道海水浴場周辺	2009.6.24	101		70	200	200
6		錦江湾みらい*	加治木町、加治木中学校、(社) 敬天会さちかぜ、竜門ソフトボール少年団、鍊心館空手、錦江野球スポーツ少年団、須崎自治会、加治木柔道	加治木町	須崎海岸	2007.7.4	450		100	370	200
7		錦江湾みらい*	霧島市、霧島市観光協会、鹿児島県隊友会国分支部、陸上自衛隊国分駐屯曹友会、(社) 鹿児島県環境保全協会隼人支部、国分南小サッカースポーツ少年団、国分小軟式野球スポーツ少年団、国分隼人ライオンズクラブ、熊本州衛生公社、霧島市倫理法人会	霧島市	国分下井海岸	2007.7.4	800		740	6,710	550
8		錦江湾みらい*	喜入港振興協力会、中名小学校ソフトボールスポーツ少年団、喜入基地安全協力会	鹿児島市	喜入港周辺海岸	2007.7.4	269		130	650	1,000
9		錦江湾みらい*	姶良町観光協会、錦海漁業協同組合、姶良町建設業協会、姶良町菅工事組合、姶良衛生、姶良町役場職員互助会、姶良町内スポーツ少年団、姶良一本釣り漁友組合、日本たばこ産業鹿児島支店	姶良町	重富海水浴場、脇元海岸	2009.7.4	1,700		1,000	7,600	2,100
10		藤枝繁	鹿児島大学「ボランティア論」	鹿児島市	磯街道下海岸	2009.7.9	12	537	10	25	100
11		錦江湾みらい*	指宿市、北指宿中学校、三島建築設計事務所、指宿建設業協働組合青年部、南指宿中学校、指宿漁協女性部、南薩地域振興局農林普及課、指宿市観光協会環境美化委員会	指宿市	魚見港周辺(田良岬等)	2009.7.11	350		80	400	1,500
12	鹿児島湾	錦江湾みらい*	小浜地区自治公館、県環境保全協会隼人支部、霧島市環境保全協会隼人支部、小浜小学校、宮内トランボリンスポーツ少年団、イオン九州株隼人国分サティ、平山やまびこ太鼓	霧島市	小浜海岸	2009.7.12	673		900	3,500	500
13		錦江湾みらい*	垂水市、垂水市内建設業組合	垂水市	垂水市内全域海岸	2009.7.19	3,910		5,700	57,000	15,000
14		錦江湾みらい*	福山町漁業協同組合、福山中学校、隼人青年団、霧島市役所、福山サンタリー	霧島市	福山港周辺海岸	2009.7.20	204		1,000	4,520	640
15		錦江湾みらい*	高須町内会、浜田町内会、高須港遊漁船組合、鹿屋小型船舶遊漁船協議会、鹿屋航空基地會海会、鹿屋体育大学海洋スポーツセンター、サンセット315、大隅地域振興局	鹿屋市	高須・浜田海岸	2009.7.18-19	421		1,000	4,790	2,900
16		錦江湾みらい*	宮田小学校	南大隅町	大浜海岸	2009.9.2	41	2,527	10	50	200
17		錦江湾みらい*	北指宿中学校、指宿プロバスクラブ、指宿税務署、指宿市役所	指宿市	魚見港周辺(田良岬等)	2009.9.12	80	1,076	10	70	100
18		下川亜希	「はじめてみよう！環境ボランティア活動（海編）」かごしま環境未来館	鹿児島市	磯海水浴場	2009.9.23	11	713	5	11	300
19		錦江湾みらい*	鹿屋海洋スポーツクラブ、高須小学校、浜田小学校、高須中学校、高須町内会、浜田町内会	鹿屋市	高須海岸	2009.9.26	98	3,903	34	110	200
20		錦江湾みらい*	錦江中学校	錦江町	堂之元港周辺	2009.10.13	22	5,018	6	21	300
21		錦江湾みらい*	協和小学校、東京海上日動火災（株）鹿児島支店・鹿屋支店	垂水市	海潟海岸	2009.10.17	49	998	11	30	200
22		錦江湾みらい*	重富中学校	姶良町	脇元海岸	2009.10.17	150	1,703	20	100	300
23		錦江湾みらい*	大根占小学校	錦江町	馬場海岸	2009.10.20	83	3,034	10	100	300
24		錦江湾みらい*	隊友会大迫様、株式会社山藤建設、生活学校、加治木町鍊心館空手、オムロンフィールドエンジニアリング九州、肝付電設、加治木柔道スポーツ少年団、城・ロノ町・威王团地子供会、加治木ライオンズクラブ、加治木町衛生協会、井上建設、加治木中学校男子ソフトテニス部、ビューティフルサンデー、伊原保険事務所有限会社、加治木町商工会、(社) 敬天会さちかぜ、かしの木グループ、加治木町役場	加治木町	須崎海岸	2009.10.25	250	1,827	52	180	200
25		中尾智	鹿児島大学水産学部「総合演習」	鹿児島市	磯街道下	2009.11.30	11	368	7	14	100
26		有村智明	80人のアクリアリスト	大崎町	くにの松原海岸	2009.5.10	80	4,742	100	200	300
27		中野行男	ボランティア中野	薩摩川内市	唐浜海岸	2009.5.24	1		57	200	2,000
28		積山祥	別府児童クラブ	枕崎市	長崎海岸	2009.6.6	30	712	15	53	100
29		梅木利弘	羽島小学校、串木野海上保安部	いちき串木野市	羽島海岸	2009.6.9	45	918	8	30	150
30		藤枝繁	鹿児島大学水産学部海ごみ研究室	日置市	吹上浜二潟海岸	2009.6.19	1	270	1	3	20
31		錦江湾みらい*	大泊自治会、漁協振興会、子供会	南大隅町	大泊海岸	2009.7.20	115		55	550	2,000
32	薩摩半島	菊野憲一郎	花渡川人の会	枕崎市	馬追川河口	2009.7.20	7	815	10	30	100
33		下窪健太郎	妙見児童クラブ	枕崎市	火之神公園	2009.8.26	35	455	10	50	20
34	大隅半島	藤枝繁	鹿児島大学「海へ出よう」	日置市	天神ヶ尾海岸	2009.9.3	13	501	6	13	200
35		久保浩司	24日会	日置市	江口浜	2009.9.20	54	520	14	18	200
36	中野行男	ボランティア中野	薩摩川内市	唐浜海岸	2009.9.27	1	7,763	109	380	2,000	
37		丸山直人	鹿児島クリーンアップクラブ	日置市	吹上浜	2009.11.8	147	7,414	15	77	1,000
38		安野広樹	久木野小学校	枕崎市	台場公園	2009.11.20	16	843	3	11	20
39		藤枝繁	鹿児島大学水産学部海ごみ研究室	日置市	吹上浜二潟海岸	2009.11.20	1	31	1	1	20
40		藤枝繁	鹿児島大学水産学部海ごみ研究室	日置市	吹上浜二潟海岸	2010.1.22	1	55	1	2	10
41		酒匂明彦	立神わんぱくクラブ	枕崎市	火之神岬公園大和記念碑下	2010.3.6	15	1,140	7	14	50
42		藤枝繁	鹿児島大学水産学部海ごみ研究室	日置市	吹上浜二潟海岸	2010.3.20	4	25	1	1	10
43	奄美	古仁屋海上保安署	諸純小中学校、古仁屋海上保安署	瀬戸内町	諸純長浜海岸	2009.5.12	38	577	9	30	1,000
44		川崎朋之	龍北中学校、奄美海上保安部	龍郷町	嘉渡海岸	2009.6.4	43	2,667	20	181	1,000
45		薩川崎朋之	円小学校、奄美海上保安部	龍郷町	円海岸	2009.6.26	23	1,321	15	65	100
46		有村智明	三島村「第4回海の学校（1班）」	三島村	坂本海岸（硫黄島）	2009.7.25	22	225	7	40	100
47		有村智明	三島村「第4回海の学校（2班）」	三島村	坂本海岸（硫黄島）	2009.7.28	32	285	12	25	50
48	河川	倉重加代	鹿児島女子短期大学	鹿児島市	甲突川河岸	2009.10.20	4	149	1	1	300
49	内陸	藤枝繁	鹿児島大学「ボランティア論」	鹿児島市	鹿児島大学教育学部キャンパス内	2009.5.7	62	1,232	10	15	200

* 錦江湾みらい総合戦略推進協議会

11,006 59,475 11,644 89,446 38,940

表2 エリア別散乱ごみの流出起源別割合

大分類	小分類	アイテム数	回収量(個数), 回収割合															
			鹿児島湾		薩摩・大隅半島		奄美・薩南諸島		海域合計		河川		水際合計		内陸			
破片/かけら類	7	14,988	55.9%	13,778	52.6%	2,240	44.1%	31,006	53.4%	12	8.1%	31,018	53.3%	679	55.1%	31,697	53.3%	
陸上起源	喫煙	4	4,038	15.1%	580	2.2%	168	3.3%	4,786	8.2%	20	13.4%	4,806	8.3%	125	10.1%	4,931	8.3%
	飲料・食品	11	5,340	19.9%	7,313	27.9%	1,542	30.4%	14,195	24.4%	106	71.1%	14,301	24.6%	331	26.9%	14,632	24.6%
	農業	3	148	0.6%	443	1.7%	57	1.1%	648	1.1%	1	0.7%	649	1.1%	2	0.2%	651	1.1%
	医療・衛生	5	78	0.3%	85	0.3%	12	0.2%	175	0.3%	0	0.0%	175	0.3%	1	0.1%	176	0.3%
	生活・レクリエーション	6	715	2.7%	1,074	4.1%	83	1.6%	1,872	3.2%	2	1.3%	1,874	3.2%	40	3.2%	1,914	3.2%
	衣料品	2	167	0.6%	435	1.7%	81	1.6%	683	1.2%	0	0.0%	683	1.2%	11	0.9%	694	1.2%
	家電・粗大ごみ	6	44	0.2%	35	0.1%	10	0.2%	89	0.2%	1	0.7%	90	0.2%	16	1.3%	106	0.2%
	物流	4	18	0.1%	122	0.5%	0	0.0%	140	0.2%	0	0.0%	140	0.2%	0	0.0%	140	0.2%
	建築	2	194	0.7%	142	0.5%	9	0.2%	345	0.6%	7	4.7%	352	0.6%	20	1.6%	372	0.6%
	特殊なゴミ	2	5	0.0%	6	0.0%	0	0.0%	11	0.0%	0	0.0%	11	0.0%	0	0.0%	11	0.0%
	小計	45	10,747	40.1%	10,235	39.1%	1,962	38.7%	22,944	39.5%	137	91.9%	23,081	39.6%	546	44.3%	23,627	39.7%
海上起源	海運・水産業	9	970	3.6%	2,068	7.9%	872	17.2%	3,910	6.7%	0	0.0%	3,910	6.7%	7	0.6%	3,917	6.6%
	釣り	3	110	0.4%	123	0.5%	1	0.0%	234	0.4%	0	0.0%	234	0.4%	0	0.0%	234	0.4%
	小計	12	1,080	4.0%	2,191	8.4%	873	17.2%	4,144	7.1%	0	0.0%	4,144	7.1%	7	0.6%	4,151	7.0%
	総計	64	26,815		26,204		5,075		58,094		149		58,243		1,232		59,475	
	海域別回収総量割合		46.2%		45.1%		8.7%											

これら陸上起源のゴミは、海岸に直接投棄されたものというよりも、むしろ河川を通じて陸上から海洋へ流出したものと考えられます。ただし海岸に漂着したものはその一部であり、河川やその河口の海底にはそれ以外のものが大量に堆積していることが危惧されます。産業や医療に関わるごみの流出も大きな問題ですが、まずは海と離れた陸上で生活する我々が、海洋に大きな負担をかけているという意識を持つことが必要でしょう。

一方、全体の7.0%（昨年7.0%）を占めた海洋起源ごみは、主に海洋での産業活動やレジャー活動に起因するものでした。これら水辺で使用されるアイテムは、不法投棄以外にも不適切利用や管理不足によっても流出してしまいます。回収されたアイテムは、その中でも水に浮いて海岸に流れ着いたもののみです。海洋上で投棄されたごみの中には、沈むものも多く含まれており、一度海底に沈むと調査や回収が困難となることから、河川からの流出と合わせて、海洋上でのごみの流出防止についても常に心がけなければなりません。

流出起源をエリア別に比較すると、全エリアで共通して目立つのが飲料・食品であり、内陸エリア、鹿児島湾エリア、河川エリア、内陸エリアで喫煙が、薩南・奄美諸島エリアで海運・水産業が10%を超えるました。これらの傾向は昨年とほぼ一致しています。また鹿児島湾エリアで目立つ流出起源が内陸エリアと共にすることから、閉鎖性内湾海岸におけるごみ散乱の原因は、内陸を起源とするアイテムの河川からの流出と、海岸利用者のマナーの低さに原因があると推察されます。

3. アイテム別順位

今年度のアイテム別総合順位は、硬質プラスチック破片が22.3%で第1位、プラスチックシートや袋の破片が10.2%で第2位、発泡スチロール破片（大）が8.2%で第3位、タバコの吸殻・フィルターが6.9%で第4位、ガラス瀬戸物破片が6.4%で第5位となりました（表3）。2003年より鹿児島湾では、発泡スチロールの発生源の一つである発泡スチロール製漁業用フロートの処分・リサイクルが推進されてきました。その結果、鹿児島湾では発泡スチロール破片の割合は近年減少しており、大小合わせると2008年度の14.2%から11.7%へと低下しています。今後もこの取り組みの効果を継続的に見守っていきましょう。

また昨年度の水際ワースト10アイテムを全国と比較すると（図3）、鹿児島と全国ではカキ養殖用パイプ類、紙片、飲料用プラボトル、ロープ・ひもを除いて共通しているこ

表3 アイテム別ワースト20（総合）の昨年度との比較

2009年度		2008年度			
順位	アイテム	割合(%)	順位	アイテム	割合(%)
1	硬質プラスチック破片	22.3	1	硬質プラスチック破片	14.0
2	プラスチックシートや袋の破片	10.2	2	プラスチックシートや袋の破片	12.1
3	発泡スチロール破片（大）	8.2	3	ガラス・瀬戸物破片	10.0
4	タバコの吸殻・フィルター	6.9	4	発泡スチロール破片：大（1c）	9.4
5	ガラスや陶器の破片	6.4	5	食品の包装・容器	6.0
6	ふた・キャップ	5.9	6	ふた・キャップ	6.0
7	食品の包装・容器	5.1	7	タバコの吸殻・フィルター	5.7
8	飲料用プラボトル	4.8	8	飲料用プラボトル	5.5
9	発泡スチロール破片（小）	3.5	9	発泡スチロール破片：小（1c）	4.8
10	ロープ・ひも	3.5	10	ウキ・フロート・ブイ	2.9
11	飲料ガラスびん	2.6	11	飲料缶	2.8
12	ウキ・フロート・ブイ	2.2	12	ロープ・ひも	2.6
13	プラスチック袋	1.8	13	飲料ガラスびん	2.2
14	飲料缶	1.8	14	袋類（農業用以外）	2.1
15	紙片	1.6	15	紙片	1.6
16	ストロー・マドラー	1.4	16	使い捨てライター	1.4
17	生活雑貨	1.3	17	生活雑貨	1.4
18	花火	1.1	18	くつ・サンダル	0.9
19	金属破片	1.0	19	ストロー・マドラー	0.8
20	使い捨てライター	0.9	20	タバコのパッケージ・包装	0.8
その他		7.6	その他		6.9
総回収個数		59,475個	総回収個数		55,201個

とがわかります。よって鹿児島の海岸は、日本や世界の海岸と海でつながっており、海が抱えているごみ問題はどこでも共通であると言えるでしょう。

陸上起源ごみのワースト3の出現頻度を図4に示します。調査37会場中、陸上起源アイテムの上位4位の飲料用ラボトル、ふた・キャップ、食品の包装・容器、タバコの吸殻・フィルターは15~20会場でワースト3内に入っています。これら4アイテムが多くの海岸で特に目立つて散乱していることがわかります。

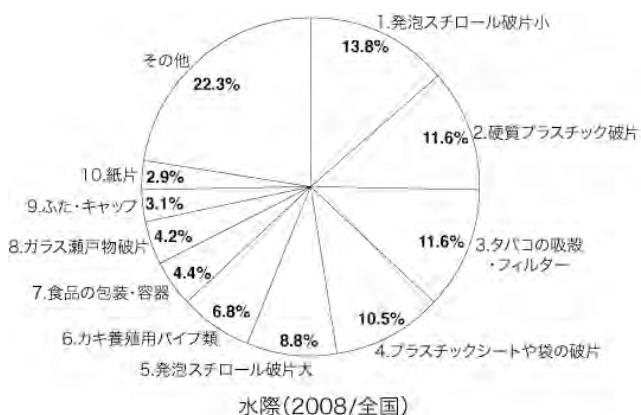


図3 ワースト10アイテムの割合

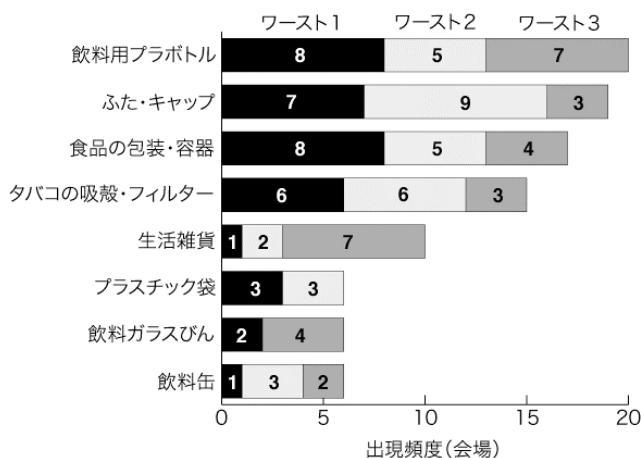


図4 陸起源ワースト3品目の会場頻度(n=37)

4. ワースト10アイテムの推移

鹿児島県におけるワースト10アイテムの11年間の推移を図5に示します。本年度のワースト10の特徴は、昨年1,2位の硬質プラスチック破片、プラスチックシートや袋の破片に順位の変化はなく、昨年10位の飲料缶が14位になり、新たにロープ・ひもが10位となりました。ワースト9内のアイテムは、2006年から変化なく、固定されてきました。今年順位を上げたのは、3位の発泡スチロール破片大、4位のガラス・瀬戸物破片であり、1位、2位以外に6位のふた・キャップ、8位の飲料用ラボトル、9位の発泡スチロール破片小が同順位でした。順位を下げたのはタバコの吸殻・フィルター、食品包装・容器となりました。

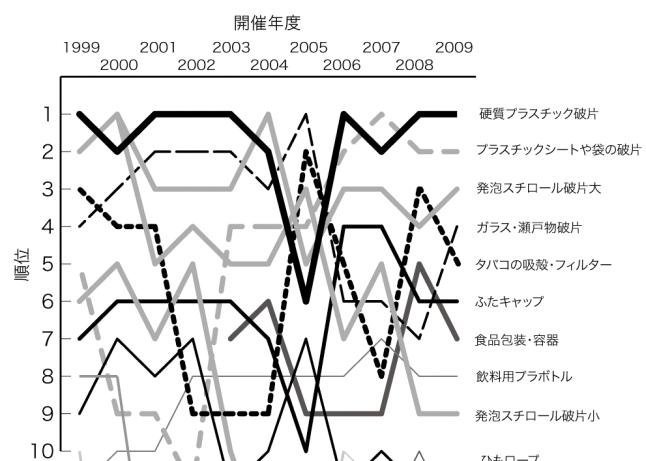


図5 ワースト10アイテム(総合)の11年間の推移

5. エリア別結果

最後に、表4に鹿児島湾エリア(15会場)、薩摩・大隅半島エリア(15会場)、奄美・薩南諸島エリア(5会場)の海岸3エリアと、河川エリア、内陸エリア(各1会場)のワースト10を比較します。

総合1位硬質プラスチック破片は、海岸3エリアですべて1位となりました。3エリア共通のアイテムは、硬質プラスチック破片の他、プラスチックシートや袋の破片、ガラスや陶器の破片、ふた・キャップ、発泡スチロール破片大の5アイテムであり、発泡スチロール破片小、食品の包装・容器、ロープ・ひも、飲料用ラボトル、飲料ガラスびん、の5アイテムが2エリアで共通していました。各エリア内単独でワースト10に入ったアイテムは鹿児島湾のタバコの吸殻・フィルター、プラスチック袋、奄美・薩南諸島のウキ・フロート・ブイ(以上昨年と同じ)、飲料缶、袋類(農

業用以外)でした。なおふた・キャップと飲料用プラボトルの割合は、鹿児島湾エリア<薩摩・大隅半島<奄美・薩南諸島エリアとなり、外洋域で高い傾向が見られました。

これらの傾向は昨年と同じです。

今年度の結果では、適切に処理されていれば 2,829 本の飲料用プラボトルと 1,046 本の飲料缶および 1,525 本の飲料ガラスびんが資源として再利用されていたことになります。これらは海岸にあることにより、砂や海水の塩分を含み、資源物とすることはできません。限りある資源を海洋に流出することによってその価値を失うことは大きな損失でもありますし、また不燃物として処理されることにより、地域の最終処分場の寿命を短縮させ、間接的に地域住民や自治体の負担が増すこともあります。よってこれらアイテムの利用者である我々は、陸上においてごみのさらなる削減と適切な処分を実行していかねばなりません。

表4 エリア別ワースト10アイテムの比較

鹿児島湾			薩摩・大隅半島		
順位	アイテム	割合(%)	順位	アイテム	割合(%)
1	硬質プラスチック破片	20.7	1	硬質プラスチック破片	24.9
2	タバコの吸殻・フィルター	13.7	2	プラスチックシートや袋の破片	10.5
3	プラスチックシートや袋の破片	11.5	3	発泡スチロール破片(大)	10.2
4	ガラスや陶器の破片	9.6	4	食品の包装・容器	7.0
5	ふた・キャップ	5.6	5	飲料用プラボトル	6.1
6	発泡スチロール破片(小)	5.5	6	ふた・キャップ	5.9
7	発泡スチロール破片(大)	5.3	7	ロープ・ひも	5.2
8	食品の包装・容器	3.6	8	飲料ガラスびん	4.2
9	プラスチック袋	3.5	9	ガラスや陶器の破片	3.6
10	ロープ・ひも	2.3	10	発泡スチロール破片(小)	2.4
その他		18.8	その他		20.1
総回収個数			総回収個数		
26,815個			26,204個		
奄美・薩南諸島			海域合計		
順位	アイテム	割合(%)	順位	アイテム	割合(%)
1	硬質プラスチック破片	21.9	1	硬質プラスチック破片	22.7
2	発泡スチロール破片(大)	15.6	2	プラスチックシートや袋の破片	10.2
3	ウキ・フロート・ブイ	15.0	3	発泡スチロール破片(大)	8.4
4	飲料用プラボトル	13.0	4	タバコの吸殻・フィルター	6.8
5	ふた・キャップ	9.2	5	ガラスや陶器の破片	6.3
6	ガラスや陶器の破片	3.3	6	ふた・キャップ	6.0
7	飲料ガラスびん	3.3	7	食品の包装・容器	4.9
8	飲料缶	2.3	8	飲料用プラボトル	4.8
9	プラスチックシートや袋の破片	2.1	9	発泡スチロール破片(小)	3.6
10	袋類(農業用以外)素材不明	2.0	10	ロープ・ひも	3.5
その他		12.4	その他		22.6
総回収個数			総回収個数		
5,075個			58,094個		
河川			内陸		
順位	アイテム	割合(%)	順位	アイテム	割合(%)
1	ブルタブ	59.7	1	紙片	21.8
2	タバコの吸殻・フィルター	13.4	2	食品の包装・容器	17.9
3	ガラスや陶器の破片	6.7	3	プラスチックシートや袋の破片	13.2
4	食品の包装・容器	4.0	4	タバコの吸殻・フィルター	9.3
5	くぎ・針金	4.0	5	ガラスや陶器の破片	8.1
6	紙袋	2.7	6	硬質プラスチック破片	6.5
7	プラスチック袋	2.0	7	金属破片	5.2
8	おもちゃ	1.3	8	ふた・キャップ	2.8
9	硬質プラスチック破片	0.7	9	生活雑貨	2.7
10	金属破片	0.7	10	飲料用プラボトル	1.8
その他		4.7	その他		10.7
総回収個数			総回収個数		
149個			1,232個		

6. まとめ

今年度のクリーンアップキャンペーンは、多くの団体、企業、個人の後援、協賛、協力により多くのボランティアの参加を得て、海岸で一つ一つ丁寧に拾い上げられたごみの数量は、59,475個となりました。皆さんと共に11年間、鹿児島県海岸に漂着散乱するごみの実態を記録してきましたが、その結果から改善の兆しあほとんど見られません。海洋は地球規模で見ると閉鎖系であるために、部分的な汚染の放置は地球規模の汚染へと広がって行きます。よって我々は、まず身近な鹿児島の海岸が私たちの生活で生じたごみによって汚染されていることをしっかりと受け止め、これからも海岸清掃活動を単なる回収活動だけに終わらせるだけでなく、活動後、これらをどのようにすれば減らすことができるかを地域でまた家庭で考えていく場にすることが重要でしょう。また海洋へのごみの流入は今も継続しています。海は世界つながっていることから、一時的に一地域をきれいにしても全体として見ればその効果はほとんどありません。よってきれいになった海岸では、美しさを維持する努力も必要です。

本年7月、「海岸漂着物処理推進法」が制定されました。鹿児島県でもこの法律に則って地域計画が策定され、計画的な取り組みが始まろうとしています。鹿児島県は、みんなの継続の成果として10年以上の海洋ごみのモニタリング結果を有しています。また発泡スチロール製フロートの発生抑制に関する先進的事例も有しています。鹿児島県は、今後も海洋ごみ対策の先駆県としてリードしていくことが期待されます。

IV. 事務局だより

1. かごしまクリーンアップキャンペーン 2010 計画

かごしま事務局では 2010 年度の活動として、「かごしまクリーンアップキャンペーン 2010」を以下の通り計画しています。昨年同様、みなさんのご参加をお待ちしております。

- 国際ビーチクリーンアップ (ICC) に参加します。
- 展示会、講演会、研修会などを通じて地域での環境学習を応援します。
- 各地で行われるクリーンアップイベントを応援します。
- 得られたデータを基に改善策を提案し、改善への道を開きます。

2. 「かごしまクリーンアップキャンペーン報告書」バックナンバーのご紹介

かごしま事務局では、1999 年活動分より年次報告書を作成しています。例年、クリーンアップキャンペーンの紹介や参加方法、各年の結果分析、参加者の声、活動の記録など継続して掲載しているとともに、それぞれの年に特集や寄稿記事があります。

ご希望の方は、かごしま事務局までお問い合わせください。1 冊 500 円で頒布しています。

【1999 年】*在庫わずか

- ・漂着物博物館：「オウム貝・漂流ハガキ・名刺」

【2000 年】*在庫なし

- ・改善に向けた取り組み：「改善事例／広島県の事例より」
- ・漂着物博物館：「オウム貝・人形いろいろ・ニッキ水の瓶・謎リング・謎の虫カゴ」

【2001 年】

- ・改善に向けた取り組み：「発泡スチロール製フロートおよび破片散乱に対する取り組み」

- ・漂着物博物館：「謎の漂着物、葉莢（やっきょう）のふた」

【2002 年】

- ・改善に向けた取り組み：「発泡スチロール製フロートの再資源化」、「漂着ごみ日韓協働プロジェクト」
- ・特集：「クリーンアップを「環境学習」に活用しよう！」
- ・漂着物博物館：「謎のレジンペレット（被覆肥料）」

【2003 年】

- ・改善に向けた取り組み：「発泡スチロール製フロートの

回収リサイクル」、「越境ごみ問題／ライタープロジェクト」

【2004 年】

- ・改善に向けた取り組み：「発泡スチロール漁業資材リサイクル確立事業」、「指標漂着物（ライター）を用いた海岸漂着ごみのモニタリング（ライタープロジェクト）」

【2005 年】

- ・海洋ごみ問題の現状と課題
- ・改善に向けた取り組み：「教育・啓発活動特集」
- ・調査報告：「ライタープロジェクト／東シナ海、日本海海岸に漂着する海洋ごみの流出地の推定」、「鹿児島県吹上浜における指標漂着物を用いた海岸漂着ごみの定期モニタリング」、「鹿児島県内自治体へのアンケート調査／海岸ごみの処分に関する協力意向調査」

【2006 年】

- ・海洋ごみ問題に関する 2006 年までの動き
- ・改善に向けた取り組み：「教育活動特集」
- ・調査報告：「全国海岸における微小プラスチックの漂着実態」

【2007 年】

- ・調査研究報告：「日本における国際海岸クリーンアップ (ICC) の現状とその課題」

【2008 年】

- ・調査研究報告：「鹿児島湾における海洋ごみ（海岸漂着ごみ、海面浮遊ごみ、海底堆積ごみ）の実態」

3. JEAN オリジナル資料のご案内

JEAN では、以下のような海洋ごみに関する教育・啓発活動用の資料を制作しています。詳細は JEAN の web site (<http://www.jean.jp/>) をご覧ください。

■クリーンアップキャンペーン・レポート

日本における国際海岸クリーンアップ (ICC) の年次レポートです。一年間のクリーンアップキャンペーン実施結果や全国各地からの海ごみに対するご意見、JEAN が昨年取り組んだプロジェクトの紹介などが満載です。資料価格 1,000 円（送料込み）

■JEAN 機関紙「美しい海をこどもたちへ」

年 4 回発行される JEAN 機関紙。クリーンアップキャンペ

ページの最新情報だけでなく、海を中心とした環境問題にかかるトピックを満載。また JEAN が実施している「海ごみサミット」やシンポジウム、ワークショップなどの情報を得ることもできます。JEAN の活動を支援する海風サポート（年間 10,000 円、年一回のクリーンアップレポートと、年四回の機関紙をお送りします。）、潮風サポート（年間 3,000 円、年四回の機関紙をお送りします。）の皆さんに発送しています。

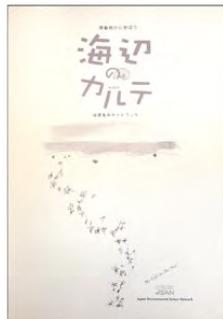
■クリーンアップマニュアル

初めてキャプテンになる方を対象としたクリーンアップマニュアルです。データカードのアイテムが一つずつ写真付きで説明されています。（税込み価格 550 円、送料込）

■小学生向け環境ワークブックと指導者用ガイドブック

「海辺のカルテ—漂着物から学ぼう」

小学 4 年生以上を対象にした海辺での環境学習教材で、指導者用ガイドブックとワークブックのセットになっています。波や風、砂、生き物、ごみなどさまざまなものを題材にした 32 のアクティビティが紹介されています。学校のみならず地域での環境学習、生涯学習講座などでも活用可能です。（税込み価格 2,440 円、送料込）



■ビデオ「ごみ箱になった海—私たちのごみが海を汚す」

ごみによる海の汚染の実情や問題点を紹介する、JEAN のオリジナルビデオです。ごみの問題点は汚いことだけではありません。そして、クリーンアップだけでは解決もしないのです。ごみの調査、生物の研究、沿岸域管理、市民活動などの現場で海のごみ問題に取り組む全国の専門家やクリーンアップの仲間たちへの取材をもとにまとめられています。上映時間は約 15 分、テーマ曲『風になれ』(Manna 作) も大好評です。（株）アルバローザの支援で、1 年半にわたる取材を経て作成されました。鹿児島の海も出てきますよ！（税込み価格 2,100 円、送料込）



■ビデオ「人工の海—外洋のプラスチック」

アメリカの環境 NGO アルガリタ海洋研究所が制作したビデオの日本語版です（約 10 分）。1950 年代のプラスチック時代の始まりから現在に至るまでに、捨てられたプラスチックが細かな破片となって海を漂い自然に分解することなく存在し続けている実態と、それがどのように環境に影響を及ぼすかを説明したものです。目に見えないところで起こっているショッキングな実態が紹介されています。（税込み価格 1,650 円、送料込）

■漂着物のトランク・ミュージアム

6 つの大きな旅行用トランクの中に、浜辺に流れ着いた様々な漂着物が収まっています。トランクの大きさは 90cm × 60cm × 24cm、6 トランクで一セットとなっています。開けばそのまま展示ができます。

●貸出方法

送料の他、保険料とメンテナンス経費が必要です。送料は地域によって異なりますが、一個につき往復 3,000 円～5,000 円程度。JEAN から着払いでの発送、元払いでの返送と



なります。貸出期間は送・返送期間を含めて最長 2 週間です。トランクの空き状況を、必ず JEAN に電話か E メールでご確認いただき、貸出申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはファックスで申込みください。なお貸し出しには「トランクアンケート（主催者用）」「トランクアンケート（来場者用）」の実施が必要です。必要書類は JEAN の web site (<http://www.jean.jp/>) からダウンロードしてください。

■ごみによる海洋生物への被害についての写真パネル

散乱ごみによる絡まりの被害にあった野生生物や、海岸に散乱するごみなどの写真パネルです。アメリカのオーシャン・コンサーバンシーの写真が 20 種類。日本国内で撮影されたものや、日本人研究者が海外で記録した写真が 10 種類あります。大きさは約 60cm × 90cm です。

●貸出方法

往復の送料と保険料が必要です。送料は地域によって異なりますが、10 枚を一梱包として往復 3,000 円～4,000 円程度です。JEAN から着払いでの発送、元払いでの返送となり

ます。貸出期間は送・返送期間を含めて最長2週間です。

パネルの空き状況を必ずJEANに電話かEメールでご確認ください。そして、貸出申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはファックスでお送りください。必要書類はJEANのweb site (<http://www.jean.jp/>) からダウンロードしてください。

*なおパネルの一部は、かごしま事務局でも無料で貸し出ししています。お問い合わせください。

4. 海ごみ関連図書の紹介

■海ゴミ-拡大する地球環境汚染

(中公新書) 小島あづさ,眞 淳平 ¥ 861

漁網が多数漂着する世界遺産・知床。海外からのゴミが流れ着く南西諸島。日々、特殊車両を使わないとゴミを除去しきれない湘南海岸・・・。いまや日本のすべての海岸が、大量のゴミで覆いつくされようとしています。それらのゴミはなぜ発生し、どこから来るのか。また、私たちの生活や生態系にどのような影響を与えるのか。そして、いま求められている対策などにか。この本では、忍び寄る海ゴミの脅威の実態に迫ります。海ごみ研究室によるライタープロジェクトや、種子島沖でのニューストンネットによる漂流微小プラスチック調査、海洋ごみの漁業への影響などの各種研究成果が紹介されています。

■海はゴミ箱じゃない!

(岩波ジュニア新書) 真 淳平 ¥ 780

「海ゴミ-拡大する地球環境汚染(中公新書)」を執筆した眞淳平さんが、海岸清掃に積極的にかかわっている子供たちの姿を見て自分にできることは何か?と考え、その答えとして「日本の海で起きていることを伝えること」「何ができるか考えるきっかけを提供すること」としてこの本をまとめました。ここでも鹿児島での活動が紹介されています。

5. 連絡先

■クリーンアップかごしま事務局

〒890-0056

鹿児島市下荒田 4-50-20

鹿児島大学水产学部水産教員養成課程分野内

代表 藤枝 繁

Tel&Fax/099-286-4252

e-mail <fujieda@fish.kagoshima-u.ac.jp>

<http://www.seafrogs.info/>

●ゆうちょ銀行総合口座 17810-26270441

加入者名「クリーンアップかごしま事務局

代表 藤枝繁」

(ゆうちょ銀行(総合口座) ATMからの電信振替の場合、手数料無料です。)

●鹿児島銀行 鴨池支店 普通口座 1213958

加入者名「クリーンアップカゴシマジムキョク」

■一般社団法人 JEAN

(旧 JEAN/クリーンアップ全国事務局)

〒185-0021

東京都国分寺市南町 3-4-12 マンションソフィア
202

Tel/042-322-0712 Fax/042-324-8252

E-mail cleanup@jean.jp

<http://www.jean.jp/>

☆書籍買い取りいたします。

自然科学・郷土誌・民族・近代文学・限定本・絵本他

あづさ書店西駅店

<http://www4.synapse.ne.jp/nishiekiten/>

(都通り電停下車)

鹿児島市中央町30-7

Tel: 099-254-5048

※クリーンアップ報告書のバックナンバーも
取り扱っています。

V. 協力・謝辞

- 主 催：クリーンアップかごしま事務局
- 共 催：一般社団法人 JEAN
- 後 援：鹿児島県・鹿児島大学水産学部・第十管区海上保安本部
- 協 賛：あづさ書店西駅店、(株) ランドアート
- 協賛事業：錦江湾クリーンアップ作戦（錦江湾みらい総合戦略推進協議会）
- 告知協力：錦江湾みらい総合戦略推進協議会
- 全国キャンペーン後援：環境省・水産庁・海上保安庁・国土交通省
- 協力団体：(株) 姶良衛生、姶良町、姶良町管工事組合、姶良内スポーツ少年団、姶良一本釣り漁友組合、姶良町観光協会、姶良町建設業協会、姶良町役場職員互助会、姶良町立重富中学校、奄美海上保安部、奄美市立円小学校、イオン九州(株) 隼人国分サティ、いちき串木野市立羽島小学校、指宿漁協女性部、指宿建設業協同組合青年部、指宿市、指宿市観光協会環境美化委員会、指宿市立北指宿中学校、指宿税務署、指宿バスプロクラブ、大崎町、鹿児島海上保安部、かごしま環境未来館、鹿児島県、(社)鹿児島県環境保全協会隼人支部、鹿児島県企画部地域政策課、鹿児島県隊友会国分支部、鹿児島市、鹿児島市磯町内会、鹿児島市桜島支所、鹿児島女子短期大学、鹿児島市立桜峰小学校、鹿児島市立清水小学校、鹿児島市立清水中学校、鹿児島市立生見小学校、鹿児島市立前之浜小学校、鹿児島大学「海に出よう」、鹿児島大学水産学部海ごみ研究室、鹿児島大学水産学部「総合演習」、鹿児島大学「ボランティア論」、鹿児島クリーンアップクラブ、加治木柔道、加治木町、加治木町立加治木中学校、加治木鍊心館空手、鹿屋海洋スポーツクラブ、鹿屋航空基地曹海会、鹿屋小型船舶遊漁船協議会、鹿屋市、鹿屋市立高須小学校、鹿屋市立高須中学校、鹿屋市立浜田小学校、鹿屋市高須町内会、鹿屋市浜田町内会、鹿屋体育大学海洋スポーツセンター、喜入海上保安署、喜入基地安全協力会、喜入港振興協力会、霧島市、霧島市観光協会、霧島市環境保全協会隼人支部、霧島市立小浜小学校、霧島市小浜地区自治公民館、霧島市立国分南小学校サッカースポーツ少年団、霧島市立国分南中学校、霧島市立福山中学校、霧島市倫理法人会、錦海漁業協同組合、錦江町、錦江町立錦江中学校、錦江町立大根占小学校、串木野海上保安部、(社)敬天会さちかぜ、花渡川人の会、県大隅地域振興局、県南薩地域振興局農林普及課、国分隼人ライオンズクラブ、古仁屋海上保安署、(株)三州衛生公社、サンセット315、須崎自治会、瀬戸内町立諸鈍小中学校、高須港遊漁船組合、立神わんぱくクラブ、龍郷町立龍北中学校、垂水市、垂水市内建設業組合、垂水市立協和中学校、東京海上日動火災(株)鹿児島市店・鹿屋支店、中名小学校スポーツ少年団、ナノックガイドチーム、錦江野球スポーツ少年団、日本たばこ産業鹿児島支店、隼人青年団、平山やまびこ太鼓、福山サニタリー、福山町漁業協同組合、別府児童クラブ、ボランティア中野、三島建設設計事務所、三島村、南大隅町、南大隅町大泊自治会、南大隅町漁協振興会、南大隅町立大泊小学校子供会、南大隅町立宮田小学校、南さつま市立久木野小学校、宮内トランポリンスポーツ少年団、妙見児童クラブ、(株)ランドアート、陸上自衛隊国分駐屯地曹友会、竜門ソフトボール少年団、24日会、80人のアクアリスト(50音順)
- 2009年度のキャンペーンは、上記の皆さんのご協力とご支援、ご理解により実施されました。ありがとうございました。

かごしまクリーンアップキャンペーン

2009 報告書

頒布： 500 円

2010 年 3 月 31 日発行

編集・発行 クリーンアップかごしま事務局

編集 藤枝 繁

〒890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20

鹿児島大学水産学部水産教員養成課程分野内

Tel & Fax /099-286-4252

e-mail / fujieda@fish.kagoshima-u.ac.jp

印刷 / 中島印刷株式会社 Tel /099-223-4321

無断転載禁止